

次期計画の基本理念について (案)

現行「福祉3計画」の共通理念

調布市障害者総合計画 (平成30年度～令和5年度)

調布市地域福祉計画 (平成30年度～令和5年度)

第8期調布市高齢者総合計画 (令和3年度～令和5年度)

みんなが自分らしく安心して つながりをもって暮らし続けられるまち
— 支え合い 認め合い ともに暮らす —

(理念1) 一人ひとりが生涯にわたって、その人らしく生活していける地域社会

市民一人ひとりが住み慣れた地域において、生涯にわたって安心していきいきと自分らしい生き方ができ、必要な支援を受けながら、自立して暮らしていける地域社会を目指します。そのために、必要なサービスや支援が行き届く体制づくりと、社会参加を促す取組を進めます。

(理念3) 住民全体で支え合う地域社会

市民一人ひとりが当事者として、地域や生活の課題などについてともに考え、サービスの受け手にとどまるのではなく、できる力を活用して、地域の担い手となり、支援を必要とする人を支え合う地域社会を目指します。そのための体制づくりについて行政、市民、ボランティア、地域組織、事業者など多様な主体と協働しながら取り組みます。

(理念2) 誰もが社会の一員として互いに認め合い、尊重し合う地域社会

誰もが、孤立することなく、互いを尊重し合い、多様性を認め合いながらともに生きる地域社会を目指します。そのために、年齢、障害の有無、性別、人種その他の違いにかかわらず、市民一人ひとりが地域の一員としてつながりをもって暮らせる地域づくりを進めます。

(理念4) 様々な課題を受け止め、包括的に支援する体制

個人や家族、地域が抱える問題は多様な側面を持っています。これらを解決していくためには、多くの担い手がそれぞれの強み専門性をいかした、より一体的、包括的な支援が必要です。そのため福祉のみならず他分野とも連携し、個人や地域の課題に応じた切れ目のない支援を提供できる体制構築を目指します。



次期「福祉3計画」の共通理念 (素案)

みんなで支え合う、誰一人取り残されない、ともに生きるまち (←調布市基本計画より)

(理念1) 誰もが自分らしく暮らし続けることができる地域社会

誰もが住み慣れた地域で、安心して、いきいきと、自分らしく、自立して暮らし続けることができる地域社会を目指します。そのために、必要なサービスや支援が行き届く体制づくりと、主体的な活動や自己決定による暮らし、社会参加を促進する環境づくりを進めます。

(理念3) 世代や属性を超えてつながり、住民全体で支え合う地域社会

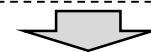
一人ひとりが世代や属性を超えてつながり、互助・共助の担い手となって、住民主体の支え合いによる地域社会を目指します。そのために、地域住民や地域組織などの多様な主体と行政が連携・協働しながら、地域全体で支え合う仕組みづくりを進めます。

(理念2) 互いに認め合い、尊重し合い、ともに生きる地域社会

多様性を認め合い、互いを尊重し合いながら、ともに生きる地域社会を目指します。そのために、一人ひとりの能力・意欲・個性等が発揮され、誰一人社会から孤立することのない地域づくりに取り組みます。

(理念4) 多様なニーズに応じた切れ目のない包括的な支援体制

複雑化・複合化する多様なニーズに対し、切れ目のない支援を一体的・包括的に行う、重層的な支援体制の充実を目指します。そのために、福祉分野のみならず他分野とも連携し、多機関協働による包括的な支援や多世代・多分野の交流、多様な担い手が専門性や強みをいかす取組を進めます。



共通理念のもと、次期各計画の個別の理念、基本的方向性、目標などを別途定める。

次期「調布市障害者総合計画」

次期「調布市地域福祉計画」

第9期調布市高齢者総合計画